議事日程(第6号)

令和6年3月27日 午前10時00分開議

- 日程第1 発議第1号 議員 入江有紀君に対する懲罰動議
- 日程第2 議案第7号 令和6年度対馬市一般会計予算
- 日程第3 議案第2号 令和5年度対馬市一般会計補正予算(第8号)
- 日程第4 議案第8号 令和6年度対馬市診療所特別会計予算
- 日程第5 議案第9号 令和6年度対馬市国民健康保険特別会計予算
- 日程第6 議案第10号 令和6年度対馬市後期高齢者医療特別会計予算
- 日程第7 議案第11号 令和6年度対馬市介護保険特別会計予算
- 日程第8 議案第12号 令和6年度対馬市旅客定期航路事業特別会計予算
- 日程第9 議案第13号 令和6年度対馬市水道事業会計予算
- 日程第10 議案第14号 令和6年度対馬市漁業集落排水事業会計予算
- 日程第11 議案第28号 対馬市国際ターミナル条例の一部を改正する条例
- 日程第12 対馬市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙
- 日程第13 発議第2号 盗難仏像の早期返還を求める意見書
- 日程第14 発委第1号 対馬市議会委員会条例の一部を改正する条例
- 日程第15 常任委員会の閉会中の継続審査について
- 追加日程第1 委員会の閉会中の継続審査について

本日の会議に付した事件

- 日程第1 発議第1号 議員 入江有紀君に対する懲罰動議
- 日程第2 議案第7号 令和6年度対馬市一般会計予算
- 日程第3 議案第2号 令和5年度対馬市一般会計補正予算(第8号)
- 日程第4 議案第8号 令和6年度対馬市診療所特別会計予算
- 日程第5 議案第9号 令和6年度対馬市国民健康保険特別会計予算
- 日程第6 議案第10号 令和6年度対馬市後期高齢者医療特別会計予算
- 日程第7 議案第11号 令和6年度対馬市介護保険特別会計予算
- 日程第8 議案第12号 令和6年度対馬市旅客定期航路事業特別会計予算

- 日程第9 議案第13号 令和6年度対馬市水道事業会計予算
 日程第10 議案第14号 令和6年度対馬市漁業集落排水事業会計予算
 日程第11 議案第28号 対馬市国際ターミナル条例の一部を改正する条例
 日程第12 対馬市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙
 日程第13 発議第2号 盗難仏像の早期返還を求める意見書
 日程第14 発委第1号 対馬市議会委員会条例の一部を改正する条例
 日程第15 常任委員会の閉会中の継続審査について
 追加日程第1 委員会の閉会中の継続審査について

出席議員（19名）

1番 糸瀬 雅之君	2番 陶山荘太郎君
3番 神宮 保夫君	4番 島居 真吾君
5番 坂本 充弘君	6番 伊原 徹君
7番 入江 有紀君	8番 船越 洋一君
9番 脇本 啓喜君	10番 小島 徳重君
11番 黒田 昭雄君	12番 小田 昭人君
13番 波田 政和君	14番 小宮 教義君
15番 上野洋次郎君	16番 大浦 孝司君
17番 作元 義文君	18番 春田 新一君
19番 初村 久藏君	

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長	國分 幸和君	次長	平間 博文君
課長補佐	糸瀬 博隆君	係長	犬束 興樹君

説明のため出席した者の職氏名

市長	比田勝尚喜君
副市長	俵 輝孝君

教育長	中島 清志君
総務部長	木寺 裕也君
総務課長（選挙管理委員会事務局書記長）	一宮 努君
しまづくり推進部長	伊賀 敏治君
観光交流商工部長	阿比留忠明君
市民生活部長	村井 英哉君
福祉部長	田中 光幸君
保健部長	桐谷 和孝君
農林水産部長	黒岩 慶有君
建設部長	内山 歩君
水道局長	舎利倉政司君
教育部長	扇 博祝君
中対馬振興部長	原田 武茂君
上対馬振興部長	原田 勝彦君
美津島行政サービスセンター所長	藤田 浩徳君
峰行政サービスセンター所長	居村 雅昭君
上県行政サービスセンター所長	田村 竜一君
消防長	主藤 庄司君
会計管理者	勝見 一成君
監査委員事務局長	志賀 慶二君
農業委員会事務局長	主藤 公康君

午前10時00分開議

○議長（初村 久藏君） おはようございます。

これから議事日程第6号により、本日の会議を開きます。

日程第1. 発議第1号

○議長（初村 久藏君） 日程第1、発議第1号、議員 入江有紀君に対する懲罰動議を議題とします。

地方自治法第117条の規定によって、入江有紀君の退場を求めます。

〔7番 入江 有紀君 退場〕

○議長（初村 久藏君） 提出者の説明を求めます。10番、小島徳重君。

○議員（10番 小島 徳重君） 発議第1号、令和6年3月15日、対馬市議会議長、初村久蔵様。提出者、対馬市議会議員、小島徳重。賛成者、対馬市議会議員、大浦孝司、同じく賛成者、対馬市議会議員、小田昭人、同じく賛成者、対馬市議会議員、黒田昭雄。

議員 入江有紀君に対する懲罰動議。

次の理由により、議員、入江有紀君に懲罰を科されたいので、地方自治法第135条第2項及び会議規則第160条第1項の規定により動議を提出します。

理由。令和6年3月15日の令和6年第1回定例会の一般質問において、通告以外の発言を冒頭に行い、しかも比田勝市長の行動に問題があると指摘した。

市政一般質問において、このようなことが行われて良いはずがなく、本人は市民の声と発していたようだが、十分な調査・確認をしての発言とは思われない。

令和5年12月6日の令和5年第4回定例会の一般質問においても同様の発言を行い、令和6年3月7日の本定例会において戒告処分を受けているにもかかわらず、このように著しい不穏当発言をし、議会の品位を失墜させたため懲罰動議を提出する。

以下、ちょっと補足の説明をします。

入江議員の懲罰動議を読み上げるに当たり、入江議員の度重なる不穏当な発言について、憤りを通り越し、虚しさ、悲しみを感じながらこの演壇に立っています。

何が虚しいか、悲しいか。入江議員は、昨年12月6日の本会議一般質問における発言中、同僚議員の私生活等を批判するなどの不穏当な発言をし、本会議中3月7日に戒告処分を受けたばかりであるにもかかわらず、わずか8日後の3月15日の一般質問において、比田勝市長の身分に係る事案を市民の声として発言されました。入江議員は3月7日に受けた戒告処分の懲罰をどのように受け止めているのか、全く理解に苦しみます。

地方自治法第132条は、議会の品位の保持について、次のように規定しています。「普通公共団体の議会の会議又は委員会においては、議員は、無礼の言葉を使用し、又は他人の私生活にわたる言論をしてはならない。」。また、対馬市議会会議規則第62条第2項は、一般質問について、質問者は、「議長にその要旨を文書で通告しなければならない。」と定めていますが、入江議員は通告なしで比田勝市長の行動に関わる事案についての発言をされました。

12月議会における入江議員の不穏当な発言を受けて懲罰特別委員会が3回にわたって開催され、7名の委員は、議会の品位を保つため真摯に協議し、議長に報告しました。議会の総意として議長が発した戒告処分の思いはどこに消えてしまったのでしょうか。

3月7日に戒告処分の懲罰を受けた後も、入江議員は、地方自治法や市議会会議規則についての理解が深まらなかったのでしょうか。それとも、法令について理解しながらも、何かの意図をもって、一般質問において通告なしであえて比田勝市長の行動について発言されたのでしょうか。

法令について理解が不十分であれば、議員としての資質、見識を問われ、市民の代表であるべき議員としての職責放棄と言わざるを得ません。一方、法令について理解しながら、意図的に不穏当な発言がなされたのであれば、地方自治制度や対馬市議会に対する冒流行為であり、到底許されるものではありません。

いずれにしても、同一議員において同様の事案が繰り返された事実は、入江議員の品位、職責が問われるのみならず、対馬市議会の名を大いに辱める前代未聞の出来事であります。

申し添えておきますが、入江議員は、平成26年には戒告処分、平成27年には陳謝処分の懲罰を受けています。また、日頃の議会活動においても無礼の言葉を使用し、議長から注意を受けたこともあります。12月19日、懲罰特別委員会の中で懲罰委員長が入江議員に尋ねたとき、「悪いことをしたとは思っていないので、従うつもりはない」とも発言をされました。

以上のような理由により、対馬市議会の信頼回復のため、懲罰特別委員会を設置し、審議を深め、三度同様の事案が起きないように講じるべきであります。懲罰特別委員会設置について議員各位の御賛同をお願い申し上げ、動議提案の説明といたします。

○議長（初村 久藏君） 次に、入江有紀君から、本件について一身上の弁明をしたいとの申出が
あっております。

お諮りします。これを許可することに異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。入江有紀君の一身上の弁明を許可することに決定
しました。

入江有紀君の入場を許可します。

〔7番 入江 有紀君 入場〕

○議長（初村 久藏君） 入江有紀君に、一身上の弁明を許可します。登壇して弁明を行ってくだ
さい。7番、入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） おはようございます。このたび、私の懲罰動議に対する反論をさ
せていただきます。

言っておきますが、法律ではこのことは懲罰に値しませんのであしからず。

今回、勇気を振り絞って、市民の方が固有名詞まで挙げて、私に比田勝市長への思いを届けた
方へ、このような形で懲罰動議の弁明をしなければならなくなったことにおおびと申し訳ない気
持ちでいっぱいです。私は、今回の懲罰動議を民主主義の崩壊につながるのではないかと危惧し
ております。「長いものには巻かれろ」では、民主主義の根幹を揺るがすことにならないでし
ょうか。

私の議員生活は、厳原町議を経て、対馬市議会を務めてまいりました。

政治の理念・信条は、1、少数派意見でも大切にす、2、光が当たらないところにも光を当てる、3、市民に寄り添う、4、社会的弱者などの声を市政に届けるを議員活動のモットーとして議員活動に励んでまいりました。市民の代表として、市民の代弁者として、今回の懲罰動議の結果にかかわらず、私の政治理念・信条に基づき議員活動に励んでまいりたいと思っております。

小島議員に申し上げます。

議会内での懲罰動議は、法律は3つしかありません。よく勉強をされて出すべきでしたね。懲罰動議にならないものを懲罰動議に出された小島議員ほか議員3名を、顧問弁護士ヒライミツルにより裁判にかけることになりましたので御報告しておきます。二度とこんな間違った懲罰動議を出さないよう、ほかの議員のためにも裁判に持っていくます。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 入江有紀君の弁明が終わりました。

入江有紀君の退場を求めます。

〔7番 入江 有紀君 退場〕

○議長（初村 久藏君） これから質疑を行います。発議第1号について、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

お諮りします。懲罰の議決については、会議規則第161条の規定によって、委員会への付託を省略することができないとされています。本件については、7人で構成する懲罰特別委員会を設置し、これに付託することにしたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。本件は、7人で構成する懲罰特別委員会を設置し、これに付託することに決定しました。

議事運営の都合により、暫時休憩します。再開時間は追って連絡いたします。

全員協議会を議員控え室において開催しますので、お集まりください。

午前10時16分休憩

午前10時29分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。

お諮りします。懲罰特別委員の選任については、委員会条例第8条第1項の規定により、配付しております名簿のとおり、陶山荘太郎君、島居真吾君、坂本充弘君、船越洋一君、小宮教義君、上野洋次郎君、大浦孝司君を指名いたします。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。懲罰特別委員は名簿のとおり選任することに決定しました。

懲罰特別委員会の正副委員長互選のため、懲罰特別委員会を招集します。

暫時休憩します。

午前10時31分休憩

午前10時31分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。

正副委員長が決定しましたので、報告します。

委員長に上野洋次郎君、副委員長に船越洋一君が選任されております。

これより懲罰特別委員会を開催願います。

暫時休憩します。再開時間は追って連絡します。

午前10時32分休憩

午前10時57分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。

議員 入江有紀君に対する懲罰動議について、懲罰特別委員会の審査報告を求めます。懲罰特別委員長、上野洋次郎君。

○議員（15番 上野 洋次郎君） 対馬市議会議長、初村久藏様。懲罰特別委員会委員長、上野洋次郎。

懲罰特別委員会審査報告書。

令和6年第1回対馬市議会定例会において、令和6年3月15日、小島徳重議員ほか3名から、議員、入江有紀議員に対する懲罰動議が提出され、定例会最終日の令和6年3月27日、委員会条例第7条第1項の規定により懲罰特別委員会が設置されたところであります。

当委員会は本日直ちに委員会を開催しましたので、その審査の内容について、会議規則第110条の規定により報告いたします。

本件は、入江議員が令和6年3月15日の自身の一般質問において、市民からの声と称して通告以外の発言を冒頭に行い、比田勝市長の行動に問題があると指摘するなど著しい不穏当発言をして議会の品位を失墜させたとして、地方自治法第135条第2項及び会議規則第160条第1項の規定に基づき、入江議員に対する懲罰を要求されたものであります。

委員会としては、詳細な審査が必要であるとの意見により、今会期中に結論を出すことは時期尚早であると判断し、閉会中の継続審査とすることに決定しました。

○議長（初村 久藏君） ただいまの委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

入江有紀君の入場を求めます。

〔7番 入江 有紀君 入場〕

○議長（初村 久藏君） 入江有紀君に申し上げます。懲罰特別委員長から、懲罰動議は閉会中の継続審査とすることに決定したとの報告がありましたので、その旨通告します。

お諮りいたします。懲罰特別委員長から、閉会中の継続審査申出書の提出があつております。本件を日程に追加し、追加日程第1として、日程の順序を変更し直ちに議題としたいと思ひます。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。閉会中の継続審査についてを日程に追加し、日程の順序を変更し直ちに議題とすることに決定しました。

追加日程第1. 委員会の閉会中の継続審査について

○議長（初村 久藏君） 追加日程第1、委員会の閉会中の継続審査についてを議題とします。

懲罰特別委員会において審査中の発議第1号、議員 入江有紀君に対する懲罰動議について、配付しておりますとおり、継続審査の申出の届出があつております。

お諮りします。申出のとおり、閉会中の継続審査とすることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。発議第1号は、申出のとおり、閉会中の継続審査とすることに決定しました。

日程第2. 議案第7号

○議長（初村 久藏君） 日程第2、議案第7号、令和6年度対馬市一般会計予算を議題とします。

本件は予算審査特別委員会に付託しておりましたので、委員会の審査報告を求めます。委員長、黒田昭雄君。

○議員（11番 黒田 昭雄君） 令和6年第1回対馬市議会定例会において、会議規則第37条第1項の規定により本委員会に付託されました議案第7号、令和6年度対馬市一般会計予算について、審査の経過と結果を、同規則第110条の規定により次のとおり報告いたします。

本委員会は、令和6年3月11日から14日までの4日間、対馬市議会議場において、担当部長等関係職員の出席を求め、細部にわたり説明を受け、審査を行いました。また、14日の最終

日には、市長の出席を求め、総括質疑を行いました。

以下、審査の概要について報告いたします。

令和6年度の一般会計歳入歳出予算の総額は、令和6年3月末が市長の改選期に当たることから、重要な政策的予算を除いた骨格予算としているが、継続事業、緊急を要する事業、国・県など関係団体との連携が必要な事業などは計上されており、令和5年度当初予算と比較してプラス1.7%の332億2,700万円となっています。

歳入予算につきまして、自主財源である市税は、対前年度比プラス0.3%の約29億3,700万円、地方交付税は令和6年度分の配分・算定方法が不透明な状況であることを考慮し、プラス0.8%の約134億7,300万円、国庫支出金、約45億1,100万円、県支出金、約29億8,000万円が計上されています。

その他の主な歳入として、財政調整基金、減債基金、合併振興基金などから約31億円を繰り入れるほか、財源補填がある辺地対策事業債、過疎対策事業債、緊急自然災害防止対策事業債など約38億円の市債が計上されています。

歳出予算につきましては、人件費は、退職組合負担金の増、会計年度任用職員の勤勉手当の増により対前年度比プラス5.5%となる約50億円が計上されており、大きく増額となっています。

公債費につきましては、元利償還金合計で昨年度とほぼ同額の約48億2,000万円が計上されています。

普通建設事業費につきましては、対馬市防災行政情報伝達システム整備事業や市道尾浦浅藻線改良事業をはじめとする大型の継続事業等により、対前年度比マイナス2.0%の約62億円が計上されています。

物件費につきましては、塵芥処理施設の年次点検補修業務委託料及び電算機器保守委託料の増などにより、対前年度比プラス3.6%となる61億6,000万円となっています。

主な新規・継続事業は以下のとおりであります。

情報通信基盤整備事業1億7,380万9,000円、対馬ブルーカレッジ運営事業1,980万円、ふるさと納税返礼システム運用事業1億9,896万6,000円、豊玉こども園建設事業1億6,480万円、海岸漂着物等地域対策推進事業3億円、漁港整備事業10億7,500万円、市道改良事業19億1,211万7,000円、公営住宅等整備事業6億662万7,000円、防災行政情報伝達システム整備事業6億1,051万8,000円、厳原中学校長寿命化・大規模改造事業2億6,712万7,000円。

以上、本委員会に付託されました「議案第7号、令和6年度対馬市一般会計予算」については、審査の結果、賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

なお、本議案の審査において、会議規則第108条の規定により少数意見の留保が行使され、委員長経由で少数意見報告書が議長宛てに提出されていることを申し添えます。

最後に、予算審査において指摘事項や意見等については各部署で十分検討され、第2次対馬市総合計画後期計画に掲げる将来像の4つの挑戦、みんなが主役になる希望の島「ひとづくり」への挑戦、地域経済が潤い続ける島「なりわいづくり」への挑戦、支え合いで自立した島「つながりづくり」への挑戦、自然と暮らしが共存する島「ふるさとづくり」への挑戦を柱に、対馬ならではの地域の活性化を図り、市民の所得向上と福祉の充実のため、適正かつ速やかに予算執行に当たられますよう強く要望いたします。

以上で予算審査特別委員会の審査報告といたします。

○議長（初村 久藏君） 報告が終わりました。

次に、議案第7号に対し、脇本啓喜君ほか3名から、配付のとおり、会議規則第108条第2項の規定により少数意見の報告書が提出されています。

提出者の説明を求めます。9番、脇本啓喜君。

○議員（9番 脇本 啓喜君） 対馬市議会議長、初村久藏様。予算審査特別委員会委員、脇本啓喜。賛成者、糸瀬雅之、同、入江有紀、同、小宮教義。

少数意見報告書。

令和6年3月14日の予算審査特別委員会において留保した少数意見を、会議規則第108条第2項の規定により次のとおり報告します。

記。

1、議案第7号、令和6年度対馬市一般会計予算。

2、意見の要旨。本案につきましては、当該市営住宅建設用地（中対馬病院跡地）が存する鶏知地区は、本市の中でも、対馬やまねこ空港を擁する交通アクセスに優れ、商業集積地かつ対馬病院等社会インフラも整った人口集中地域であり、今後、対馬市の人口流出抑制を図る上で重要な地域であることは多くの市民も理解できると思います。

当該市営住宅建設用地ほどの広大な更地は今後出てこないと思われ、従来の単なる二階建て市営住宅建設事業を踏襲する計画のままでは、あまりにももったいないと考えます。また、当該市営住宅建替え事業計画については、現在、市営住宅在住の方に聞き取りを実施するのみで、地域住民の意見を十分反映しているとはとても言い難いと考えます。

市長は、さきの市長選挙において、「市民みんなが主役」をスローガンに選挙を戦っていらっしやいましたが、少なくとも当該市営住宅建設事業については公約に矛盾するのではないかと思います。

については、コンパクトシティ構想を念頭に置き、市民、特に当該市営住宅建設用地周辺の意見

を十分に反映して執行することを強く求め、議案第7号のうち、歳出は8款・土木費、6項・住宅費、2目・住宅建設費6億662万7,000円及び同事業に係る歳入を削減する修正案を提出するものであります。

なお、修正箇所の数値の変更については、配付の資料を御高覧くださいませ。

○議長（初村 久藏君） 説明が終わりました。

これから委員長報告、少数意見報告及び修正案に対する一括質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 質疑なしと認め、これから討論、採決を行います。

それでは、まず、議案第7号、令和6年度対馬市一般会計予算の原案について、討論はありますか。9番、脇本啓喜君。

○議員（9番 脇本 啓喜君） 議案第7号、令和6年度対馬市一般会計予算、原案に対する反対の立場で討論をいたします。

当該市営住宅用地（中対馬病院跡地）が存する鶏知地区は本市の中でも交通アクセスに優れ、商業集積地かつ社会インフラも整った人口集中地域であり、今後、対馬市の人口流出抑制を図る上で重要な地域です。

また、当該市営住宅建設用地ほどの広大な更地は今後出てこないと思われ、介護つき高齢者住宅（CCRC）等の建設や学童施設を併設するなど、コンパクトシティ構想を念頭に置く計画を立案すべきだと思います。

平成28年第4回定例市議会で私は対馬版CCRC構想について一般質問し、コンパクトシティを念頭に置いたまちづくりの推進を訴えました。その際、比田勝市長は以下のように答弁しています。「今現在、すぐに、先ほどありましたような集落の移転を含めたCCRC、対馬コンパクトシティの移住型CCRCは、私自身は、ここはまだ時期尚早なのかなというふうな気持ちでいるところでございます」。

しかし、3年前の議員全員協議会で、この鶏知地区における市営住宅建て替えに関する説明を理事者側が初めて実施した際に、小宮議員から、コンパクトシティ構想を念頭に置き計画策定に当たるべきだとの発言がありました。その発言に対して、比田勝市長は、私はもともとコンパクトシティ推進の考えだとの答弁をなさいました。時が経てば、社会の状況変化を受け考え方が変わることはあり得ますし、むしろ、その時々に対応して、柔軟に考えることが首長には求められると私は思います。

比田勝市長におかれましては、コンパクトシティ推進であるとの立場に変更されたのであれば、担当部署にその信念を説き、その信念にふさわしい事業展開を実施されるよう強く求めるところ

です。

また、その計画策定に当たっては、市民、特に当該市営住宅建設用地周辺の意見を十分反映させることが法律でも求められています。ところが、当該市営住宅建て替え事業計画については、現在、市営住宅在住の方に聞き取りを実施するのみで、地域住民の意見を十分反映しているとはとても言い難いところです。さきの小職一般質問における地区住民に説明会を開催する時間が無いとの答弁は自らが招いたことであり、説明会未開催の理由とはなりません。

市長は、さきの市長選挙において、「市民みんなが主役」をスローガンに選挙を戦いましたが、少なくとも当該市営住宅建設事業については公約と矛盾していると私は思います。改選後初の定例会市議会に公約と矛盾すると解される事業予算を含む令和6年度一般会計当初予算案を、修正を求めることなく可決させることは議会の存在意義にも関わることだと私は思います。

以上、議案第7号のうち、歳出は8款・土木費、6項・住宅費、2目・住宅建設費6億662万7,000円、歳入はそれに伴う部分を皆減した修正案をここに提案いたします。

議員皆様におかれましては、修正案の趣旨を御理解賜り、原案に反対賜りますようお願い申し上げます。

○議長（初村 久藏君） ほかに討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 次に、修正案に対して討論はありませんか。5番、坂本充弘君。

○議員（5番 坂本 充弘君） 私は、議案第7号、令和6年度対馬市一般会計予算の修正案に反対の立場で理由を述べ、反対討論といたします。

修正案で皆減予算となっている雞知団地建設事業については、雞知地区3団地の老朽化に伴い、現在入居されている方などを対象に、居住環境を整え、安全で快適な住まいを長期間にわたって供給するという公営住宅の建て替え目的に沿った整備を図る目的で進められております。

令和3年6月、第2回臨時会後の議員全員協議会での計画説明に始まり、令和4年度から調査設計、候補地の用地取得等の予算化、実施などを踏まえて、市議会としても承認した中で進められてきたものであり、これまでの手続に基づいた予算案の提出であると考えられます。

また、国への計画認定や補助申請なども既に進められてきており、修正案の方向になれば、国と対馬市との信頼関係が崩れるおそれがあり、団地の建設を待ち望んでいる市民の皆様も困惑されることが予想されます。

私としては、早急に建設に着手し、市民の負託に応えられるよう対馬市としては対応すべき案件と考えます。よって、原案につきましては適切な提案であると思われまますので、修正案については反対いたします。

○議長（初村 久藏君） ほかに討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 討論なしと認め、採決します。

まず、本件に対する脇本啓喜君ほか3名から提出されております修正案について、起立によって採決をいたします。

本修正案について、賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（初村 久藏君） 起立少数です。修正案は否決されました。

次に、原案について採決します。

本件に対する委員長の審査報告は、可決であります。

本件は、委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（初村 久藏君） 起立多数です。本件は、原案のとおり可決されました。

これをもちまして、予算審査特別委員会は終結といたします。

日程第3. 議案第2号

日程第4. 議案第8号

日程第5. 議案第9号

日程第6. 議案第10号

日程第7. 議案第11号

日程第8. 議案第12号

日程第9. 議案第13号

日程第10. 議案第14号

日程第11. 議案第28号

○議長（初村 久藏君） 日程第3、議案第2号、令和5年度対馬市一般会計補正予算（第8号）から、日程第11、議案第28号、対馬市国際ターミナル条例の一部を改正する条例までの9件を一括議題とします。

議案第2号は各常任委員会に分割付託、議案第12号は総務文教常任委員会に、議案第8号、議案第9号、議案第10号及び議案第11号の4件は厚生常任委員会に、議案第13号、議案第14号及び議案第28号の3件は産業建設常任委員会にそれぞれ付託しております。各常任委員会の審査報告を求めます。総務文教常任委員長、陶山荘太郎君。

○議員（2番 陶山 荘太郎君） 皆様、おはようございます。それでは、総務文教常任委員会の審査報告を行います。

本委員会に付託されました案件は、議案第2号及び議案第12号の2件であります。

議案第2号、令和5年度対馬市一般会計補正予算（第8号）のうち、本委員会に係る歳入は、11款・地方交付税で、普通交付税の追加、15款・国庫支出金で、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の減、16款・県支出金で、「みんなで磨く！観光まちづくり」推進事業補助金の減、18款・寄附金で、企業版ふるさと納税などに係る指定寄附金の追加、19款・繰入金で、市税の増収や歳出予算の不用額などによる財源調整のための財政調整基金繰入金及びがんばれ国境の島対馬ふるさと応援基金繰入金の減、21款・諸収入で、今年の台風6号への対応に係る災害対策費用保険金の追加、22款・市債で、集会施設建設事業債の減が主なものであります。

歳出は、2款・総務費で、普通交付税を臨時財政対策債の償還に充てるための減債基金積立金の追加、住んでよし・訪れてよしのまちづくり応援事業に係る事業費の減額に伴う補助金の減、3款・民生費で、集会施設建設工事費の減、4款・衛生費で、美津島文化会館大会議室空調設備改修のための国庫補助金の減額による教育費への予算組替えに伴う委託料及び工事請負費の減、10款・教育費で、衛生費からの予算組替えに伴う委託料の追加及び工事請負費の計上、特別支援学校建設に係る厳原中学校大規模改修工事設計委託料の減、12款・公債費で、償還金利子の減が今回の補正の主なものであります。

次に、議案第12号、令和6年度対馬市旅客定期航路事業特別会計予算について、歳入歳出予算の総額はそれぞれ4,787万2,000円であります。

歳入は、1款・事業収入で、旅客運賃及び貨物運賃の計上、2款・国庫支出金及び3款・県支出金で、赤字航路事業補助金の計上、4款・繰入金で、一般会計繰入金の計上が主なものであります。

歳出は、1款・総務費で、職員及び船員の人件費、旅費並びに日本旅客船協会など各協会への負担金の計上、2款・施設費で、渡海船の運航に係る燃料費及び修繕料などの需用費、渡海船利用者の陸上交通運行に係る委託料の計上、3款・公債費で長板浦待合所建設及び渡海船建造に係る交通事業債の償還金元金及び償還金利子の計上が主なものであります。

本事業は、人件費の増加等により前年度と比較して予算が増額されておりますが、定期航路及び中対馬未来づくりアクションプランの一環として今後とも安全運航・定時運航に努め、民業との均衡を考慮しつつ、周遊観光にも一層力を入れ、赤字の抑制に努められることを願うのであります。

以上、本委員会に付託されました議案第2号及び議案第12号の2件につきましては、慎重に審査し採決した結果、いずれも賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で、総務文教常任委員会の審査報告といたします。

○議長（初村 久藏君） 厚生常任委員長、島居真吾君。

○議員（4番 島居 真吾君） おはようございます。それでは、厚生常任委員会の審査報告を行います。

本委員会に付託されました案件は、議案第2号及び議案第8号から議案第11号までの5件であります。

議案第2号、令和5年度対馬市一般会計補正予算（第8号）のうち、本委員会に係る歳入は、1款・市税で、個人市民税、固定資産税及び市たばこ税の追加、15款・国庫支出金で、自立支援給付負担金及び社会保障・税番号制度システム整備費補助金の追加、自立支援医療給付費負担金の減、16款・県支出金で、後期高齢者医療に係る保険基盤安定負担金の減が主なものであります。

歳出は、2款・総務費で、戸籍事務へのマイナンバー制度導入に関連し、戸籍及び戸籍附票へ氏名の振り仮名や旧姓を記載するための戸籍附票システム改修委託料の追加、3款・民生費で、自立支援事業による障害福祉サービス費及び後期高齢者医療広域連合負担金に係る令和4年度精算分療養給付費負担金の追加、障害者医療費及び後期高齢者医療特別会計繰出金の減、4款・衛生費で、塵芥処理施設の運転維持管理委託料、塵芥収集委託料、し尿処理施設3施設の薬品費及び運転管理委託料の減が主なものであります。

議案第8号、令和6年度対馬市診療所特別会計予算について、歳入歳出予算の総額はそれぞれ4億6,507万3,000円であります。

歳出の1款・総務費では、診療所運営に係る職員、会計年度任用職員及び医師の人件費、出張診療所等への対馬病院からの医師派遣に係る委託料、2款・医業費では、医療用器具使用料、診療所で使用するガーゼや注射器、注射針等の医業用消耗器材費及び医薬品代が主なものとして計上されております。

議案第9号、令和6年度対馬市国民健康保険特別会計予算について、歳入歳出予算の総額はそれぞれ44億1,973万8,000円であります。

歳出の1款・総務費では、被保険者証郵送料等の通信運搬費、電算処理システム運用手数料、長崎県国民健康保険団体連合会負担金、レセプト点検事務に従事する会計年度任用職員の人件費、納税組合事務取扱費交付金、過誤納還付金及び還付加算金、2款・保険給付費では、一般被保険者療養給付費、一般被保険者高額療養費及び出産育児一時金、3款・国民健康保険事業費納付金では、医療給付費分、後期高齢者支援金等分及び介護納付金分の県納付金、5款・保健事業費では、特定健診受診率向上推進事業を行う会計年度任用職員の人件費、特定健康診査委託料及び人間ドック補助金が主なものとして計上されております。

議案第10号、令和6年度対馬市後期高齢者医療特別会計予算について、歳入歳出予算の総額

はそれぞれ5億1,422万1,000円であります。

歳出の1款・総務費では、職員の人件費及び後期高齢者医療広域連合事務費負担金、2款・後期高齢者医療広域連合納付金では、低所得者の保険料軽減分を公費で補填するための保険基盤安定負担金及び保険料納付金が主なものとして計上されております。

議案第11号、令和6年度対馬市介護保険特別会計予算について、歳入歳出予算の総額はそれぞれ40億3,893万1,000円であります。

歳出の1款・総務費では、職員及び会計年度任用職員の人件費、介護認定審査会委員報酬及び意見書作成手数料、2款・保険給付費では、居宅介護サービス給付費負担金、居宅介護予防サービス給付費負担金、高額介護サービス費負担金及び特定入所者介護サービス費負担金、8款・地域支援事業費では、要支援者の訪問型サービスと通所型サービス等の介護予防・生活支援サービス事業負担金、地域包括支援センター職員人件費及び生活支援コーディネーター事業委託料が主なものとして計上されております。

以上、本委員会に付託されました議案第2号及び議案第8号から議案第11号までの5件につきましては、慎重に審査し採決した結果、いずれも賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で、厚生常任委員会の審査報告といたします。

○議長（初村 久藏君） 産業建設常任委員長、坂本充弘君。

○議員（5番 坂本 充弘君） 産業建設常任委員会の審査報告を行います。

本委員会に付託されました案件は、議案第2号、議案第13号、議案第14号及び議案第28号の4件であります。

議案第2号、令和5年度対馬市一般会計補正予算（第8号）のうち、本委員会に係る歳入は、15款・国庫支出金で、離島活性化交付金及び特定有人国境離島地域社会維持推進交付金で水産加工品、鮮魚等水産物の輸送コスト助成事業の数量増に伴う追加、道路橋りょう費補助金の追加、公営住宅等整備事業交付金の減、16款・県支出金で、特定有人国境離島地域社会維持推進交付金による輸送コスト助成事業（水産物）の追加、有害鳥獣被害防止対策事業補助金の減、17款・財産収入で、分収造林（峰）立木売払収入の追加、22款・市債で、農産物生産出荷振興事業債及び公営住宅建設事業債の追加、河川債及び市道仁位貝鮎線道路災害防除事業に係る道路橋りょう債の減が主な補正であります。

次に、歳出は、6款・農林水産業費で、そば生産出荷奨励事業補助金及び輸送コスト助成事業補助金の追加、有害鳥獣捕獲補助金及び漁業用燃油高騰対策事業補助金の減、8款・土木費で、国の補正による市道尾浦線道路災害防除事業の追加、棧原地区急傾斜地崩壊対策事業及び市道仁位貝鮎線道路災害防除工事費の減、11款・災害復旧費で、市道目保呂ダム支線災害復旧工事費

及び漁港施設災害復旧費の減が主な補正であります。

議案第13号、令和6年度対馬市水道事業会計予算について、収益的収入は、給水収益、他会計負担金、長期前受金戻入及び資本費繰入収益が主なものであります。

収益的支出は、職員等の人件費、メーター検針及び料金徴収委託料、水質検査等の手数料、修繕費並びに電気料金等の水道施設維持管理費、水道料金納付書等の印刷製本費及び通信運搬費が主なものであります。

資本的収入は、企業債、簡易水道国庫補助金及び他会計負担金が主なものであります。

資本的支出は、各種ポンプ等の機械及び装置費、施設管理車両の購入費、水道施設整備費で、簡易水道整備工事費は中央地区、中西部地区簡易水道基幹改良事業に要する経費、企業債償還金が主なものであります。

なお、令和6年度末の未償還残高は2億4,543万3,239円となる見込みです。

議案第14号、令和6年度対馬市漁業集落排水事業会計予算について、収益的収入は、漁業集落排水処理施設使用料、他会計負担金及び長期前受金戻入が主なものであります。

収益的支出は、処理場費で、漁業集落排水処理施設の維持管理に要する経費、総係費で、中長期的な経営の基本計画の策定としての経営戦略策定業務、公営企業会計アドバイザー業務の委託料、固定資産の減価償却費及び企業債償還金利子が主なものであります。

資本的収入は、他会計出資金で、元金償還金に対する一般会計からの負担金であります。

資本的支出は、企業債償還金で、元金償還金であり、令和6年度末の未償還残高は1億56万8,222円となる見込みです。

なお、当該漁業集落排水事業会計は、令和6年4月1日より特別会計から公営企業会計へ移行いたします。

議案第28号、対馬市国際ターミナル条例の一部を改正する条例については、比田勝港及び厳原港の両港における新たな国際ターミナルの完成に伴い、施設の規模拡大により今後見込まれる出国旅客利用者の増加と、それに伴う維持管理費や利用者サービスに係る経費等の増大に加え、他県の類似施設の徴収状況も参考にしながら施設使用料の検討を行い、第11条第1項第1号中の「6歳以上12歳未満の者100円」を250円に、同項第2号中の「12歳以上の者200円」を500円に改めるものです。

なお、附則で施行日を令和6年7月1日としております。

委員からは、水産関係の燃油対策には補助金を交付されているが、農業関係への交付も検討してほしい。漁業集落排水事業については、令和6年度から公営企業会計として事業を行うこととしているが、将来にわたり人口減少や施設の老朽化も進むことが予想されるので、基本的な計画等の調査を行う必要があるのではないかなどの意見がありました。

以上、本委員会に付託されました議案第2号、議案第13号、議案第14号及び議案第28号の4件につきましては、慎重に審査し採決した結果、いずれも賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で、産業建設常任委員会の審査報告といたします。

○議長（初村 久藏君） 各常任委員会の審査報告が終わりました。

これから、委員長報告に対する質疑を行います。

まず、総務文教常任委員長報告に対する質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 質疑なしと認めます。

次に、厚生常任委員長報告に対する質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 質疑なしと認めます。

次に、産業建設常任委員長報告に対する質疑はありませんか。9番、脇本啓喜君。

○議員（9番 脇本 啓喜君） 私も産業建設委員会でありながら質問するのはいかがかなとも思うんですが、委員会の中で、令和4年度決算委員会において、集落排水事業をいつまで継続すべきなのか、検討するための資料収集を水道局へ依頼しておりました。今回、水道局が現地住民からの直接聞き取りを行って、当該基金設立当初の事情も可能な限り調査していただきまして、委員会に報告されたことは本当にすばらしいことだと高く評価しています。

このことについて、委員長報告に加えていただくようお願いしていたんですが、触れられておりませんでした。したがって、住民のほうの意見を聞くと、もうしばらくは続けていかなければいけないのかなというような委員会の報告であったと思います。そのあたり、削除されたのはなぜでしょう、委員長。

○議長（初村 久藏君） 委員長、坂本充弘君。

○議員（5番 坂本 充弘君） 委員会の中ではいろいろな意見が出ました。脇本委員の言われたことも委員会の中で話はされたんですけども、この排水事業に関しましては、また所管事務調査関係あたりで今後やっていこうというような意見もありましたので、一応、今回の報告の内容からは省略をしたということで考えております。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 9番、脇本啓喜君。

○議員（9番 脇本 啓喜君） 最後、委員長報告を取りまとめる際に、何かないかということで、このことをお願いして了承を得ていたはずなんです。それはやっぱりしっかりと守っていただきたいなというふうに思います。

こういうふういきちっと理事者側が議会の要請に応じて準備していただいたことについて、本
当高く評価しています。そのことについても、市民に、理事者側も誠心誠意努めているんだとい
うことをお知らせするのもひとつ大事な事かなというふうに思います。そういう意味も込めて、
発言させていただきました。

○議長（初村 久藏君） 脇本君、また委員会の中でそれは進めてください。

ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論、採決を行います。

まず、議案第2号について、討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 討論なしと認め、採決します。

この採決は起立によって行います。

本件に対する各常任委員長審査報告は、いずれも可決であります。

議案第2号、令和5年度対馬市一般会計補正予算（第8号）は、委員長報告のとおり決定する
ことに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（初村 久藏君） 起立多数です。本件は、委員長報告のとおり可決されました。

次に、議案第8号から議案第14号までの7件は、令和6年度の一般会計予算であります。

まず、議案第8号から議案第11号までの4件について、討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 討論なしと認め、採決します。

4件に対する委員長審査報告は、いずれも可決であります。

お諮りします。議案第8号、令和6年度対馬市診療所特別会計予算、議案第9号、令和6年度
対馬市国民健康保険特別会計予算、議案第10号、令和6年度対馬市後期高齢者医療特別会計予
算、議案第11号、令和6年度対馬市介護保険特別会計予算の4件は、委員長報告のとおり決定
することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。4件は、委員長報告のとおり可決されました。

次に、議案第12号について、討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 討論なしと認め、採決します。

本件に対する委員長審査報告は、可決であります。

議案第12号、令和6年度対馬市旅客定期航路事業特別会計予算は、委員長報告のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。本件は、委員長報告のとおり可決されました。

次に、議案第13号及び議案第14号の2件について、討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 討論なしと認め、これから採決をします。

2件に対する委員長審査報告は、いずれも可決であります。

議案第13号、令和6年度対馬市水道事業会計予算、議案第14号、令和6年度対馬市漁業集落排水事業会計予算の2件は、委員長報告のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。2件は、委員長報告のとおり可決されました。

次に、議案第28号、対馬市国際ターミナル条例の一部を改正する条例について、討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 討論なしと認め、これから採決をします。

本件に対する委員長の審査報告は、可決であります。

本件は、委員長報告のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。本件は、委員長報告のとおり可決されました。

休憩ですけど、このまま続けたいと思いますが。

日程第12. 対馬市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙

○議長（初村 久藏君） 日程第12、対馬市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙を行います。

お諮りします。選挙の方法は、地方自治法第118条第2項の規定により、指名推選としたいと思えます。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。選挙の方法は、指名推選で行うことに決定しました。

次に、指名の方法については、議長が指名することにしたいと思えます。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。したがって、議長が指名することに決定しました。

選挙管理委員に、配付しております名簿のとおり、庄司智博君、神宮吉幸君、黒岩日出夫君、増田哲美君、以上の方を指名します。

お諮りします。ただいま指名しました方を選挙管理委員の当選人と定めることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。したがって、ただいま指名しました庄司智博君、神宮吉幸君、黒岩日出夫君、増田哲美君、以上の方が選挙管理委員に当選をされました。

次に、選挙管理委員補充員には、第1順位、中村正喜君、第2順位、内山茂治君、第3順位、阿比留亀君、第4順位、阿比留芳朗君、以上の方を指名いたします。

お諮りします。ただいま指名しました方を選挙管理委員補充員の当選人と定めることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。したがって、ただいま指名しました第1順位、中村正喜君、第2順位、内山茂治君、第3順位、阿比留亀君、第4順位、阿比留芳朗君、以上の方が、順序のとおり、選挙管理委員補充員に当選をされました。

日程第13. 発議第2号

○議長（初村 久藏君） 日程第13、発議第2号、盗難仏像の早期返還を求める意見書を議題とします。

提案理由の説明を求めます。17番、作元義文君。

○議員（17番 作元 義文君） ただいま議題となりました発議第2号、盗難仏像の早期返還を求める意見書について、提案理由を御説明申し上げます。

平成24年10月に盗難事件に遭った観音寺の観世音菩薩坐像については、韓国の最高裁判所に当たる大法院で観音寺の所有権を認めた判決後も、仏像の返還にはまだ至っておりません。対馬市議会として、早急な返還を強く求めるよう、日本政府に対し要望するものであります。

それでは、発議文を読み上げ、説明に代えさせていただきます。

発議第2号、令和6年3月27日、対馬市議会議長、初村久藏様。

提出者、対馬市議会議員、作元義文。賛成者、同、陶山荘太郎、同、島居真吾、同、坂本充弘。盗難仏像の早期返還を求める意見書について。

上記の議案を、別紙のとおり、会議規則第14条第1項の規定により提出します。

盗難仏像の早期返還を求める意見書（案）。

2012年10月に対馬市で盗難にあった長崎県指定有形文化財である対馬市小綱・観音寺の仏像「観世音菩薩坐像」については、2023年2月1日の韓国大田高等法院において「観音寺の所有権を認める」という一審を覆す判決が言い渡され、ひとまず安堵したところであります。

しかし、浮石寺はこの判決を不服として韓国大法院へ上告状を提出した。この上告は、日韓両国も批准している文化財の不正な海外流出を規制し、原産国や現所有国での保存・保護を原則とする国際条約に反し、不法であることは明白であり、到底受入れ難く強い憤りを禁じえないものであった。

2023年10月26日、韓国大法院は「仏像の所有権は観音寺に存する」と、上告を棄却した。なお、新聞報道によれば韓国外務省報道官は同日の記者会見で「仏像の所有権は最終確定したものと承知している」と述べた。

対馬は古から朝鮮半島との交流の架け橋の役割を果たしてきた。また、「朝鮮通信使に関する記録」は、2017年10月に両国で受け継がれてきた誠信交隣の関係が評価されユネスコ世界の記憶へ登録された。

昨年2月25日には、約3年ぶりに対馬比田勝港と釜山港間の国際航路が再開され、今年4月からは巖原港航路も再開予定であり順調に交流も盛んになっている。しかし、この盗難仏像の返還がなされない状況が続けば、その流れに水をさすことになりかねない。

我々対馬市議会は、本来の所有者である観音寺へ仏像が早期返還されることを強く願う。日本政府当局におかれましては、韓国政府当局に対して、国際法を遵守し、盗難仏像は正当な所有者である観音寺へ早期返還するよう、より一層強く働きかけていただくことを要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和6年3月27日、長崎県対馬市議会。

提出先は、内閣総理大臣、外務大臣、文部科学大臣。

以上のとおりであります。御賛同賜りますよう、よろしく願いをいたします。

○議長（初村 久藏君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

お諮りします。本件は、委員会への付託を省略したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。本件は、委員会への付託を省略することに決定しました。

これから討論、採決を行います。

発議第2号、盗難仏像の早期返還を求める意見書について、討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 討論なしと認め、採決します。

本件は、原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。本件は、原案のとおり可決されました。

日程第14. 発委第1号

○議長（初村 久藏君） 日程第14、発委第1号、対馬市議会委員会条例の一部を改正する条例を議題とします。

提案理由の説明を求めます。15番、上野洋次郎君。

○議員（15番 上野 洋次郎君） ただいま議題となりました発委第1号、対馬市議会委員会条例の一部を改正する条例について、提案理由を御説明申し上げます。

今回の一部改正は、対馬市部設置条例が改正され、部の名称及び事務分掌が変更になったことにより、各常任委員会が所管する事項に変更が生じたため、令和6年4月1日に施行される対馬市部設置条例の各部の事務分掌に合わせて水道部を削除する変更を行い、また、併せて字句の修正を行うための所要の改正を行うものであります。

それでは、発委案を読み上げます。

発委第1号、令和6年3月27日、対馬市議会議長、初村久藏様。

議会運営委員会委員長、上野洋次郎。

対馬市議会委員会条例の一部を改正する条例について。

上記の議案を、別紙のとおり、地方自治法第109条第6項及び会議規則第14条第2項の規定により提出します。

対馬市議会委員会条例の一部を改正する条例（案）。

対馬市議会委員会条例（平成16年対馬市条例第237号）の一部を次のように改正する。

改正部分につきましては、配付の新旧対照表を御参照ください。

なお、この条例の施行日は、対馬市部設置条例の一部改正条例の施行日に合わせる必要があることから、令和6年4月1日としております。

以上、提案理由の説明を申し上げます。御賛同賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（初村 久藏君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

お諮りします。本件は、委員会への付託を省略したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。本件は、委員会への付託を省略することに決定しました。

これから討論、採決を行います。

発委第1号、対馬市議会委員会条例の一部を改正する条例について、討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 討論なしと認め、採決します。

本件は、原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。本件は、原案のとおり可決されました。

日程第15. 常任委員会の閉会中の継続審査について

○議長（初村 久藏君） 日程第15、常任委員会の閉会中の継続審査についてを議題とします。

総務文教常任委員長、厚生常任委員長及び産業建設常任委員長から閉会中の継続審査の申出が
あっております。

お諮りします。各常任委員長からの申出のとおり、閉会中の継続審査とすることに御異議ござ
いせんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。申出のとおり、閉会中の継続審査とすることに決
定しました。

お諮りします。本会議における議決の結果、条項、字句、数字、その他において整理を要する
ものがある場合、その整理権を会議規則第43条の規定によって議長に委任願います。御異議ご
ざいせんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（初村 久藏君） 異議なしと認めます。したがって、整理権は議長に委任することに決定
しました。

○議長（初村 久藏君） 以上で、本日の議事日程は全て終了しました。

市長から挨拶の申出がおりますので、これを受けます。市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 第1回対馬市議会定例会の閉会に当たり、一言、御挨拶を申し上げます。

本定例会におきましては、3月7日から21日間にわたり慎重に御審議いただき、御提案申し上げました全ての議案について御決定賜り厚く御礼申し上げます。

本定例会で議決いただきました案件につきましては、市民皆様の生活と福祉の向上ため、適正な事務処理に努め、速やかに対処してまいりたいと存じます。

次に、2件、御報告を申し上げます。

去る3月17日日曜日に、第8回対馬学フォーラムを島内外から214名の参加を得て盛況に開催することができました。この取組は、対馬に関する研究や実践活動の成果を御来場の皆様と共に分かち合い、対馬の環境や文化の保全、地域振興、教育等につなげるために開催しております。

今年度のプログラムは、今年度をもって廃校となる対馬市立豊小学校の5、6年生の皆さんによるふるさと学習の成果発表、対馬少年倶楽部の皆さんによる活動成果発表、対馬グローバル大学ゼミ受講生によるゼミ活動の成果報告、そして対馬の海洋漂着ごみ問題について取り組む学生や関係者によるトークセッション及び立教大学の映像制作グループ「Bilder」の皆さんが制作した海ごみドキュメンタリー映像を上映いたしました。

午後からは、研究や実践活動の成果をポスターに取りまとめた61本のポスターの提出があり、ポスター発表大会を開催し、また、当日は同時開催イベントとして、SDGsカフェin対馬学フォーラム、海ごみフィギュアペイントワークショップ、Ocean Good Art特別展示会を開催し、御参加いただいた皆様と有意義な意見交換となりました。

なお、提出いただきましたポスターにつきましては、4月18日まで交流センター3階の展示ホールに掲示しておりますので、近くにお越しの際はぜひ御覧になってください。

次に、去る3月24日、上県町瀬田の目保呂ダムにおいて、国境サイクリングイベント「メボロゴラウンド」を開催いたしました。今年度は、新たな試みとして、従来のファンライドイベントから目保呂ダム1周8.3キロメートルのコースを4周するタイムトライアルレースを行い、福岡県、長崎県を中心に、遠方では宮崎県からの参加者が集い、自身の限界に挑んでおりました。

本来は桜満開の美しい景色を堪能しながらのレースを想定しておりましたが、当日は満開とならず、肌寒いコンディションでありましたが、参加者からはコースセッティングなどについて好評を頂いております。

今後もサイクリストのニーズを把握しながら、本イベントさらなる発展につなげてまいります。以上、御報告でございます。

さて、開会の挨拶でも触れさせていただきましたが、令和6年度は市制施行20周年記念事業

を、4月に開催する市制施行20周年記念式典を皮切りに市民皆様と共に記念イベントを実施しながら祝っていきたいと考えております。

市制施行20周年記念式典につきましては、4月13日土曜日に対馬市交流センターイベントホールにおいて開催することとしており、市政運営に御尽力いただいた方々に対して市政功労者表彰を行うほか、記念イベントとして佐々木大地棋士の講演会、市民によるコンサートを予定しております。

新年度のお忙しい時期ではありますが、議員皆様の御出席をお願いするとともに、市民の皆様も御観覧いただけますので、多数御参加いただきますようお願いいたします。

最後になりますが、議員皆様をはじめ、市民皆様方の御健勝とますますの御活躍を祈念申し上げます、閉会の挨拶といたします。ありがとうございました。

○議長（初村 久藏君） 閉会に当たり、一言、御挨拶を申し上げます。

令和6年第1回定例会は、議案全般にわたり熱心に御審議いただきまして、ここに滞りなく閉会の運びとなりました。議員各位はもとより、市長以下、職員の方々の御協力に対して心からお礼を申し上げます。

審議の中で出ました貴重な意見や指摘事項等につきましては、今後の行政運営に活かされることを期待いたします。

この3月で役職定年になられる職員におかれましては、議会への出席が本定例会で最後となります。今まで様々な場面で議会に御協力いただきましたことに対しまして、心から感謝を申し上げます。引き続き、豊かな経験と知識を生かしてますます御活躍されることを期待いたします。

最後になりましたが、皆様方の御健勝、御多幸を祈念し、閉会の挨拶といたします。

会議を閉じます。これもちまして、令和6年第1回対馬市議会定例会を閉会します。お疲れさまでした。

午後0時24分閉会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 長 初村 久藏

副 議 長 春田 新一

署名議員 波田 政和

署名議員 小宮 教義